

令和2年度 岡崎市立北中学校 総合的な学習の時間「輝づな学習」全体計画

総合的な学習の時間 〈テーマ名〉
「輝づな」～であい・つながり・ふかめあい～

「輝づな学習」の概要

「自分を大切にできる」「お互いを認め合い、他者とつながることができる」「岡崎の人とのつながりを大切に思うことができる（岡崎の心の醸成）」「地域の環境から日本さらには世界に視野を広げ、自分自身のあり方について考え、行動することができる（環境教育）」そういった生徒の育成のためにESDを取り入れながら総合的な学習の時間を実施する。『であい・つながり・ふかめあい』をテーマに、3年間を見通し、生徒に身につけさせたい力を明らかにして内容を精査し立案した。課題を見つける力・探究する力・まとめる力・表現する力・生かす力の育成をめざす。

「輝づな学習」の目標

3年間を通して「自分の生き方」について考え、自ら見つけた課題を自ら解決できる力（生きる力）を育てる。

《めざす生徒像》

- 自ら課題をみつけることができる生徒
- グローバルな視野に立って、自分自身のあり方を見つめることができる生徒
- 課題に対して自ら表現・発信できる生徒

生徒に身につけさせたい力

<目標の自立> ○課題を見つける	A. 課題を見つける力
<方法の自立> ○課題を解決・実現する	B. 課題を探究する力
<内容の自立> ○振り返って意味づける	C. まとめる力 D. 表現する力 E. 学習したことを生かす力

【年間指導計画】

	第1学年 (50時間)	第2学年 (70時間)	第3学年 (70時間)
テーマ	「であい」 人・学区や岡崎の環境との出会いの中から、自分自身の課題を作り上げる。	「つながり」 体験活動で得た実感や感動をもとに探究を深める。	「ふかめあい」 視野を広げ、自分の生き方を見つめ直し、その思いを表現・発信する。
年間の課題とその内容	◇新しい仲間・先生とのであい(2) ・自己紹介 ◇学区の環境との出あい(48) (防災教育・ESD) ① 防災の意識を高める ・災害が起こるメカニズム調べ、過去の災害調べ学習、発表 ・起震車体験 ②学区防災を考える ・災害に備えて自分が守りたいものを考える ・地震に備えて起こりうる危険を考える ・家族で防災計画を立てる ・自分たちにできることを考える ③学区再発見 ・学区内の地形調査 ・市役所ハザードマップ作成 ・まとめ活動（グループ）	◇岡崎の人たちとのつながり(50) (岡崎の心の醸成・ESD) ①職場体験活動 ・将来の夢を考える ・職業適性検査 ・職場見学計画・実施 ・自治体、企業のエコ・防災意識をインタビュー ・お礼の手紙 ・学年発表会（まとめ） ②職場体験を生かす ・社会のために自分のできることを考える ・自分の将来を見据え、今やるべきことを考える ・将来の夢実現のためには何が必要で何をすべきか調べ、まとめる ・「将来夢新聞」の作成、発表 ◇家族や仲間とのつながり(20) (ESD) ・スキー学習計画 ・スキー学習実施 ・立志の式	◇学区で災害が起きた時中学生としてできること(5) (防災等・ESD) ・新聞記事の読み比べ ・自分の興味に合わせて記事を選択 ・クリティカルリーディング（批判的に読む） ◇日本のすばらしさ再発見(20) (国際教育・ESD) ・修学旅行計画・実施 ・日本の伝統に触れ、体験をする ・首都機能の仕組みに触れる ・日本の科学技術に触れる ◇北中生としての誇り(45) ・自己の特色と適性を知る。(1学期より進路面談、高校調べ) ・輝づなソーラン(2学期) ・生き方講演会（ゲスト） ・進学説明会、学習相談 ・進路面接 ・校内ボランティア活動 ・ソーランを後輩に継承し、思いを発信しよう
	●生徒会 美化活動 ●社会 岡崎の地形	●生徒会 美化活動 ●スキー 学習	●生徒会 美化活動 ●修学旅行 ●輝づな ソーラン

【評価方法】

- ・各学年で身につけさせたい力に基づいた評価を行う。
- ・ポートフォリオ、自己評価、振り返りカード、保護者や地域の人の感想や意見を参考にする。